



第52回全国研究協議会福井大会を終えて

全国特別支援学級設置学校長協会
会長 阿部謙策



平成27年度全国特別支援学級設置学校長協会、第52回全国研究協議会福井大会が7月29日、30日に開催され、盛況のうち無事終了しました。

「一人一人の教育的ニーズに応え、豊かに生きる力を育む共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進と充実」の大会テーマに沿い、全国より450名の校長先生方の参加を得て、熱のこもった充実した研究協議会になりました。大会の開催にあたり、特段のご配慮を頂きました福井県教育委員会、福井市教育委員会、永平寺町教育委員会をはじめとして、多くの関係諸団体に深く感謝いたします。また、本大会の準備を進めて頂いた福井大会実行委員長本多真吾様をはじめ、福井県特別支援学級設置学校長会の皆様方のご尽力に対し、会を代表して心よりお礼申し上げます。

本大会に先立ち永平寺傘松閣を再現した四季の森文化館にて行われた副会長会では、各地区から集約されました「合理的配慮の実施例と成果」「自閉症児への教科指導、学校教育法への位置づけについて」の意見や情報交換を行いました。また、大会初日には文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長 井上恵嗣様より、特別支援教育行政の現状と課題についての詳しい行政説明がありました。その中で、来年4月に施行される差別解消法の概要と準備状況や、特別支援教育の推進に向けて平成27年度に文部科学省として取り組んでいる事業の概要、新学習指導要領についてなど、今後の特別支援教育に関わる動向を分かりやすく説明して頂きました。また翌7月31日は、3つの分科会において、「特別支援学級及び特別支援教育の充実」「関係機関との連携を図る中での支援体制の構築」「教職員の意識改革」のテーマに沿って6つの実践報告とグループ討議が行われました。どの分科会においても、設置学校長としてリーダーシップを発揮していくことの必要性や、課題解決に向けての熱心な話し合いがもたれました。インクルーシブ教育システム構築に向けての特別支援教育の充実は、こうした地道な取り組みと、成果の共有化が不可欠であると考えます。全体講評では、文部科学省特別支援教育調査官 田中裕一様より、分科会の報告内容について丁寧にご講評して頂きました。講評の最後にリサーチ(情報収集)、ターゲット(誰と話すか)、アウトリーチ(こちらから手を伸ばす)の大切さと、我々設置学校の校長は「特別支援教育の広報官」という熱いメッセージとエールを頂きました。

まさに、これからの共生社会の担い手の育成は、われわれ校長の双肩にかかっているという責任を再確認した大会となったことでしょう。

結びになりますが、この第52回全国研究協議会福井大会の成果が、都道府県各地域の今後の特別支援教育の充実と発展につながることを祈念するとともに、これからの本協会の活動に対しまして、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

第52回 全国研究協議会 福井大会

実行委員長 本多 真吾



平成27年度全国特別支援学級設置学校長協会 第52回全国研究協議会福井大会は、平成27年7月30日（木）31日（金）に、福井市のAOSSA（福井県民ホール・福井市交流プラザ）で開催いたしました。

大会主題を「一人一人の教育的ニーズに応え、豊かに生きる力を育む共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進と充実」とし、講演と分科会提案を主にグループ協議を取り入れながら運営しました。福井県では、特別支援学級設置校・未設置校にかかわらず、すべての小中学校に参加をよびかけ、県内各地域から大会運営に関わる実行委員を中心に大会を成功させようと準備を進め、100人の大会役員とともに運営を行いました。

大会には、福井県内および全国各地より450人の参加者を迎え、各会場で熱心な研究協議が行われました。無事に福井大会を終えることができたのは、阿部謙策会長様をはじめとする本部役員の皆様、全国理事及び全国各地からご参会いただいた校長先生方、そしてご支援ご協力をいただいた関係各位のおかげと心より感謝申し上げます。

以下、大会の概要について報告いたします。

【1日目 7月30日（木）】

〈行政説明〉 「特別支援教育行政の現状と課題」

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長 井上 恵嗣 様

- 1 特別支援教育の現状
- 2 障害者の権利に関する条約への対応
- 3 平成27年度特別支援教育関係予算等
- 4 特別支援教育に関わる最近の動向

〈講演〉 「インクルーシブ教育の現状と課題 ～特別支援学校長の経験と視点から～」

福井大学教育地域科学部 教授

同 附属特別支援学校前校長 石井パークマン麻子 様

最初、講演で取り上げる4つの問いについて提案がありました。1つ目は、「インクルーシブ教育の現状と課題」2015年、私たちはどのような時代の文脈のどのような場所に足を置いているのか。2つ目は、共生社会とは、誰と誰が共に生きる社会か。3つ目として、特別支援教育を推進する意味。そして

最後の4つ目として、共生社会の形成に向けて、校長という立場でこそ可能なこと、実現しやすいことは何か。これらの4つの問いについて歴史を振り返りながらお話が進められました。

また、3年間の特別支援学校の校長としての経験から、校長という立場を振り返りながら、仕事についての考察や校長という立場だからこそ可能であることなどについて具体的にお話しされ、特別支援教育の推進における校長のリーダーシップについて提案がなされました。

【2日目 7月31日（金）】

〈実践報告・研究協議〉

第1分科会 「特別支援学級及び特別支援教育の充実と学校経営」

実践報告①「豊かななかかわりを通して、学ぶ楽しさや分かる喜びを実感できる子どもの育成」

～一人一人の特性に応じた支援の在り方～

（富山県高岡市立東五位小学校 吉田 茂 校長）

実践報告②「ユニバーサルデザインの授業」及び「授業ケース研究」の推進による学校教育の充実

（福井県鯖江市惜陰小学校 林 哲治 校長）

全教職員が同じ視点で研究を深めることを通じて、自分の日々の学級経営に生かせる技術を見つけ、授業の中で取り入れられる視点を得ようとしたりするなど意識の変化が見られるようになりました。また校長が、「子どものよさ」を伸ばす特別支援教育への方針を示し、リーダーシップをとりながら研究会に参加し、担任や学年担当の背負っている課題を共有し、専門機関と連携していくことで特別支援教育を充実していくことができると実感したという報告がありました。

第2分科会 「関係機関との連携を図る中での支援体制の構築と学校経営」

実践報告③「発達障害の可能性のある児童生徒への支援の充実に向けた学校（園）間の望ましい連携の在り方について」

（愛知県名古屋市立高針小学校 服部 達夫 校長）

実践報告④「支援体制の活性化を図る望ましい連携の在り方をめざして」

（福井県越前市武生西小学校 関 孝夫 校長）

市全体で、発達障害の可能性のある児童生徒への支援のために、各学校で共通の実態調査を行い、そこから学校（園）間の連携の現状や課題について明らかにし、望ましい連携の在り方について協議がなされました。また関係機関との連携を深めていくために、まずは校長が特別支援教育の重要性を認識することが重要であるという意見が出されました。

第3分科会 「教職員の意識改革と学校経営」

実践報告⑤「途切れのない支援」～校内委員会の活性化と教師力の向上を目指して～

（三重県四日市市立県小学校 小倉 秀樹 校長）

実践報告⑥「インクルーシブ教育を指向した支援システム構築に向けて」

（福井県小浜市立小浜第二中学校 田邊 重正 校長）

特別支援教育は、もはや特別なものではなく「支援教育」としていつでもどの教師でも行える体制作りが急務であり、組織作りや人材育成に校長のリーダーシップを発揮していくことが重要であるといった意見が出されました。また、学校の多忙化が指摘される中、限られた人員や時間の中で支援教育の充実や支援体制をどう機能させていくのかが課題であるといった意見も出されました。

〈全体会・全体講評〉

各分科会記録者よりそれぞれの分科会の協議内容について報告があった後に、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官の田中 裕一様から全体講評をいただき、最後に閉会行事を行い全日程が終了いたしました。

詳細につきましては、平成28年3月発行予定の全特協平成27年度研究紀要に掲載予定です。

平成27年度 全国特別支援学級設置学校長協会秋季研究協議会
第32回 関東甲信越地区研究協議会 埼玉大会

- 1 研究主題 「学校における一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進」
- 2 期 日 平成27年11月13日(金) 10:00~16:00
- 3 会 場 大宮ソニックシティ 小ホール・市民ホール
〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 048-647-4111
- 4 日 程
 - (1) 開会行事 10:00~10:30
主催者挨拶、来賓祝辞、次期開催地区代表挨拶(山梨県)
 - (2) 講 演 10:30~11:40
「埼玉県の特別支援教育の歩みから見えるもの」
～支援籍の取組を通して～
講師 山村学園短期大学 教授 黒澤 一幸 様
 - (3) 分 科 会 13:10~16:00
 - 小学校分科会1 「一人一人の教育的ニーズに応じた支援体制の充実」
《実践発表》 草加市立瀬崎小学校 益岡 和正 校長
《実践発表》 吉川市立栄小学校 小山 悟 校長
 - 小学校分科会2 「通常の学級における特別支援教育の充実」
《実践発表》 坂戸市立三芳野小学校 時山久美子 校長
《実践発表》 越谷市立大沢北小学校 宮城 英和 校長
 - 中学校分科会 「社会的自立を見通した特別支援教育の推進」
《実践発表》 さいたま市立大砂土中学校 清水 一司 校長
《実践発表》 熊谷市立大幡中学校 須藤 一郎 校長
 - (4) 閉会行事(分科会毎に散会) 16:00

参加費は無料です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

関東甲信越地区研究協議会埼玉大会実行委員会事務局 上尾市立太平中学校長 山田 明
〒362-0064 埼玉県上尾市小敷谷2-3 Tel 048-725-2026 Fax 048-726-2901

第3回全国理事研究・研修協議会のご案内

- ・期 日 平成28年1月28日(木)・29日(金)
- ・会 場 兵庫県伊丹市 伊丹シティホテル(兵庫県伊丹市中央6-2-33)
- ・内 容 [1日目]
全国副会長会 全国理事会 研究協議会 行政説明 ブロック会議
顧問参与の会 懇談会
[2日目]
教育機関研修 視察 (伊丹市立伊丹特別支援学校)
本年度最後の「全国理事研究・研修協議会」となります。ご参加をお願いします。
東京での定期総会および福井県での全国研究大会に多くの方々にご参加いただきました。ありがとうございました。